

6. 主な報道発表（2023年4月4日以降）



◀こちらから当社ホームページを
ご覧いただけます

詳細な内容は当社ホームページ <https://www.japc.co.jp> をご覧ください。

4月5日	敦賀発電所2号機の審査の進め方に関する原子力規制委員会の方針について 本日の原子力規制委員会の定例会合において、敦賀発電所2号機の審査資料の誤り等を踏まえた今後の審査の進め方について委員間討議が行われました。 その結果、今後の審査の進め方として、「K断層の連続性等に関する申請内容について、相当の期限（2023年8月31日）を定めて設置変更許可申請の一部補正を求める」ことが示され、当社の意思を確認するため、短時間のCEO会議（原子力規制委員会における弊社社長との意見交換）が開催されることになりました。
4月11日	敦賀発電所2号機の審査に係る当社の対応について 当社は、本日の原子力規制委員会の臨時会議として開催されたCEO会議（原子力規制委員会における弊社社長との意見交換）において、設置変更許可申請のK断層の連続性等に関する申請内容について、2023年8月31日までに一部補正を行うことを表明させていただきました。
4月18日	原子力規制委員会からの指導文書の受領及び役員報酬の自主返上について 当社は、本日、原子力規制委員会から、敦賀発電所2号機の設置変更許可申請書の補正に係る指導文書を受領いたしました。

げんでんふれあいギャラリー展示



◀こちらからげんでんふれあいギャラリーの
ホームページをご覧ください

◆切り絵教室 葉月会 2023年5月9日(火)～5月14日(日)

南公民館で活動をしている、切り絵教室 葉月会（代表：森本 裕子 様）の7名の皆さまによる作品展です。風景や人物など、様々なテーマの切り絵作品を32点展示予定です。

◆第14回 栗野写真倶楽部 写真展 課題作品「空」 2023年5月16日(火)～5月21日(日)

栗野写真倶楽部（代表：原田 壽 様）の10名の皆さまによる、14回目の写真展です。「空」をテーマにした作品と、自由作品を30点展示予定です。

お問合せ

げんでんふれあいギャラリー
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 10:00～16:30※ 休館日 12月29日～1月3日
※新型コロナウイルス感染予防対策のため、開館時間を短縮しています。

<https://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/fureai.html>



◀感染防止徹底宣言ステッカー
を取得しています

イベントブース出展のお知らせ

2023年5月イベント出展情報 お誘いあわせの上、是非お越しください。

日時/イベント名	会場	内容
5月5日（金・祝） 10:00～16:00 きいばす GW フェスタ 2023	美浜町エネルギー環境教育体験館 「きいばす」 (福井県三方郡美浜町丹生 62-1)	・動物ダンボール貯金箱作り ・重機ロボット操作体験 ・ドローンシミュレーター体験 ・放射線測定体験
5月14日（日） 10:00～16:00 Tsuruga DEPART 2023	敦賀駅前商店街周辺	・写真キーホルダー
5月21日（日） 9:30～15:00 第41回親子のフェスティバル	きらめきみなと館及びその周辺	・動物ダンボール貯金箱作り ・手回し発電おもちゃ ・放射線測定体験



1. 敦賀発電所の状況（2023年5月2日現在）

プラント（炉型）	状況
1号機（沸騰水型） 	●2017年5月15日～ 廃止措置工事实施中 （廃止措置期間：24年） ○2015年4月 営業運転終了 ○第5回定期事業者検査中（2022年11月7日～未定※） ※放射性廃棄物の廃棄施設である機器ドレン系ろ過装置およびアスファルト固化装置の検査を継続 廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2号機（加圧水型） 	電気出力 116.0 万 kW、1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量 1922 億 9908.3 万 kWh ●2011年8月29日～ 第18回定期検査中 ● 新規規制基準への適合性確認審査対応中 ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 =敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について= 敦賀発電所2号機は、昨年12月の審査会合において、審査資料の品質を確保するために改善した業務プロセスに基づき過去の審査資料の確認を行った結果として、当該審査資料の一部に変更が必要なことを説明しました。 その際、調査データの変更・修正について明確にすること、また、今年2月の審査会合においてはこの変更・修正に至る流れなどがわかるよう丁寧に説明することとのご指摘をいただき、次回審査会合に向け分かりやすく確認できる説明資料の作成を進めていたところ、調査データの確認結果に新たな誤りを確認しました。 原子力規制委員会における委員間討議、規制委員と当社社長との意見交換を経て、4月18日に原子力規制委員会から、敦賀発電所2号機の設置変更許可申請書の補正に係る指導文書を受領しました。 本件につきましては、地域の皆さまにご心配をおかけしており深くお詫び申し上げます。 当社は、敦賀発電所2号機の設置変更許可申請書の品質確保に取り組み、8月31日までに補正を行うとともに、今後の審査に真摯に対応してまいります。

2. 敦賀発電所3,4号機準備工事の状況（2023年5月2日現在）

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続しています。



建設予定地の状況（2023年4月25日撮影）

・本資料のお問合せ先：日本原子力発電株式会社（略称：げんでん）敦賀事業本部 立地・地域共生部

TEL:0770-25-5713 住所：敦賀市本町2丁目9-16

3. トピックス

敦賀原子力館にクリアランス製品を追加展示

「敦賀原子力館クリアランス特設コーナー」に、この度、日本原子力研究開発機構様と協働して“ふげん”のクリアランス製品（車止め※）を追加展示しました。

「敦賀原子力館クリアランス特設コーナー」には、既に当社のクリアランス製品であるベンチ・テーブルの他、製品化される前の“ふげん”クリアランス金属を展示しておりますが、今回の展示により、クリアランス金属の再利用の流れが実物を見ながら理解いただけるようになりました。

ぜひ、敦賀原子力館にお越しいただき、クリアランス特設コーナーをご見学ください。

※一般の屋外駐車場に設置してあるコンクリート製の車止めと同様の製品



4. 次世代層への教育支援活動

(1) 敦賀総合研修センターで敦賀気比高等学校の「科学探求講座」を開催

3月13日、敦賀総合研修センター（以下、研修センター）において、敦賀気比高等学校の2年生47名の生徒の皆さまに「科学探求講座」の研修を行いました。当校の探求講座は2017年度から実施しているもので、今回3年ぶりの開催となります。

当日は、「原子力エネルギー基礎研修」「発電所設備研修」「放射線計測研修」の3つの講義と実習を行いました。原子力発電の世界情勢や発電所の設備を模擬した模型を活用した解説やフルスコープシミュレーター視察、放射線計測実習を体験いただきました。

研修センターでの研修を楽しく学習され、生徒や先生からは「放射線について、より身近で詳しく理解できた」「有意義で学校の授業にもつながる講義だった」と大変喜んでいただきました。また、研修センターの役割や原子力、放射線について理解と知識を深めていただきました。

当社は、今後も、学校や先生方のニーズにお応えし、次世代層へのエネルギー教育支援活動を積極的に行ってまいります。



(2) 福井南高等学校主催のゼミ交流会に講師として参加

3月27日、原子力・エネルギー問題を視点とした探究学習に積極的に取り組まれている福井南高等学校（福井市）のゼミ交流会に、当社社員が講師として参加し、「原子力発電所の廃止措置と廃棄物処分」をテーマに講義とワークショップを行いました。

ゼミ交流会には、同校の生徒の他、福井県内や京都府、兵庫県、沖縄県他校の生徒の皆さまなど5校29名が対面とオンラインで参加しました。原子力発電の仕組みや放射線の基礎知識、原子力発電所の廃止措置、また廃止措置に伴い発生する廃棄物の処分方法などについて学んでいただきました。

福井南高等学校の生徒の皆さまからは、「今回のゼミ交流会で教わったことを今後の活動につなげていきたい」との言葉をいただきました。



5. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ

敦賀総合研修センターでは、新型コロナウイルス等の感染予防対策を講じた上で、30コースの開催を予定しており、以下はお申込み期限間近となっている主なコースの内容です。公開研修コースの詳細や、応募方法は、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.japc.co.jp/tsuruga-training/index.html>

研修名	研修概要	研修期間	申込期限
根本原因分析手法コース	事故やトラブルの原因分析に使われるS A F E R（Systematic Approach For Error Reduction）を理解し、問題の根本的な原因を明らかにする手法を学びます。 本コースで学ぶ手法は原子力発電所の現場だけでなく、一般産業のあらゆる場面でも活用できます。	6月21日（午後）～ 6月22日（2日間）	5月12日
プラントシミュレータコース	原子力発電教育シミュレータを用いて、加圧水型軽水炉（PWR）と沸騰水型軽水炉（BWR）を比較しながらプラント起動操作や原子炉出力変更などの運転操作を模擬体験するとともに、原子力発電所の安全確保の仕組みを学びます。 2日間のコースですが、1日単位の受講も可能です。	6月27日（PWR）～ 6月28日（BWR）（2日間）	5月18日
労働安全衛生コース	従業員や作業員を災害から守るために労働安全衛生法の基礎知識及び安全管理の手法の一つである労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）について学びます。また、現場作業の危険性を疑似体験することにより安全意識の向上を目指します。 本コースは原子力発電所の作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	7月3日～ 7月4日（2日間）	5月24日
確率論的リスク評価コース	原子力発電所の事故については、様々な事故の発生頻度を確率論的に求め、そのリスクを評価します。この研修では、この確率論的リスク評価（PRA）の基礎知識や具体的な評価手法を学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電所の知識を有していることが望ましい。	7月4日～ 7月5日（2日間）	5月25日
原子燃料コース	原子力発電において使用される原子燃料について、ウラン鉱石の採鉱から使用後の処理・処分までの原子燃料サイクルとともに、原子燃料の取扱上、重要な保障措置や使用済燃料の輸送や貯蔵について学びます。	7月6日（1日間）	5月26日
原子力安全基礎コース	原子力発電所の新しい規制体系・基準を理解するとともに、安全確保の仕組み（安全設計）や事故・トラブル時の評価（安全評価）及び過酷事故時の対策など、原子力発電所の安全に係る事項を学びます。 2日のコース（1日目：基礎、2日目（午前）：過酷事故対策）ですが、1日単位での受講も可能です。	7月11日～ 7月12日（午前）（2日間）	6月1日
耐震安全コース	耐震設計の基礎（概論・地震動・新規規制基準など）、原子力発電所の建築、土木構造物の耐震設計及びポンプ・容器・配管並びに電気盤などの耐震設計を学びます。 なお、受講者は地震・耐震に関する基礎的な知識を有していることが望ましい。	7月12日～ 7月13日（2日間）	6月2日

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市杵見165号9番地6）
電話：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（研修申込み専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp

